

平成24年度  
モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)にかかわる学校支援制度  
北広島市立緑陽中学校 実施結果概要

(様式3-2:モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)にかかわる学校支援制度 実施結果報告書)

実施結果報告書

1. テーマ: わたしたちの街の交通環境			
2. 実施教科等: 道徳			
3. 関連単元: 4-② よりよい社会の実現			
4. 実施授業時数: 6時間			
5. 実施学年・クラス	全学年	6. 児童生徒数	155
7. 実施内容  (1) 2012年 8月 北広島市の交通環境の現状・課題把握  (2) 2012年11月 講演会 北海学園大学(工学部准教授)鈴木 聡士 氏 「かしこい車とのつきあい方 ～北広島のまちづくりと交通を考える～」  (3) 2013年 1月 調査(保護者・地域アンケート)  (4) 2013年 2月 レポート作成  (5) 2013年 3月 鑑賞・交流			

## 8. 学習のながれ：

### (1) 北広島市の交通環境の現状・課題把握

日時：8月20日（月）5校時

昨年度の内容を振り返り（1年生には説明）、普段の自分の公共交通利用状況などを交流する。

### (2) 講演会

日時：11月8日（木）5・6校時

講師：北海学園大学（工学部准教授）鈴木 聡士 氏

「かしこい車とのつきあい方～北広島のまちづくりと交通を考える～」

対象：全校生徒、教職員、保護者

○講演会事後学習

日時：11月8日（木）6校時～放課後

事後学習プリント（振り返り、感想など）記入

### (3) 調査

日時：冬休み中

班の中から担当者を決め、家族や友人・知り合いへのアンケートや、実際にバスに乗り利用者へのインタビューを行う。

### (4) レポート作成

日時：1月15日（火）3・4校時～2月22日（金）

冬休み中に実施したアンケート・インタビューに基づき、班ごとにレポートを作成する。（授業時数が十分に確保できないため、昼休みや放課後なども利用。）

形式：模造紙を5分割し、1人1枚ずつ担当する。レイアウトなどは担当者が決める。

それぞれが完成したら、元の模造紙の形に戻し、校内に掲示する。

### (5) 鑑賞・交流

日時：3月1日（金）6校時

学年内で、それぞれのレポートを鑑賞し感想などを交流し合う。他学年の作成したレポートは、校内に掲示されたものを鑑賞する。

※学習のながれ参考資料として、「平成24年度 モビリティ・マネジメント教育のまとめ」を作成。

※教師反省

昨年の反省を生かしきれず、今年度も本格的な活動は冬となってしまった。しかし、冬だからこそ顕著となる公共交通のメリット・デメリットについても考えることができたため、良い活動となったと感じる。

※指導計画書や学習で使用した教材、学習風景を撮影した写真、児童の作品などを添付して提出してください。